

第2回令和3年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和2年7月1日（水）9時30分～

委員長 皆様、おはようございます。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

私は、本審議委員会委員長を務めさせていただくことになりました黒木と申します。

第1回審議委員会につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る情勢を踏まえまして、書面をもって開催、審議とさせていただきました。審議会の議案の令和3年度使用藤沢市教科用図書採択委員会の審議方針（案）については、書面審議の結果、案のとおり決定いたしましたことをここにご報告いたします。

今回は一堂に会しての審議となります。不慣れではございますが、藤沢市の子どもたちのために、静ひつな環境の中で公正に審議委員会を運営してまいりたいと存じます。審議委員会の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、本審議委員会規則第4条第3項に基づき、職務代理者の指名を私からさせていただきます。内田委員を指名したいと考えますが、いかがでしょうか。

各委員 異議なし。

内田委員 わかりました。

委員長 内田委員、一言ご挨拶をお願いいたします。

内田委員 皆様、おはようございます。採択審議委員会委員長職務代理者として、委員長より指名を受けました。務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

委員長

それでは、内田委員、よろしく願いをいたします。

会議の開会に先立ちまして、傍聴の皆様にお願いがござい
ます。お手元の傍聴要領をご覧ください。「藤沢市教科用図書採
択審議委員会の傍聴要領」に従い傍聴してくださいますよう願
いいたします。

なお、この会議は公開であるとともに、審議の内容につつま
しては、会議録作成の都合上、録音をさせていただきます。

また、会議の開催に当たり、藤沢市教育委員会傍聴規則第 6
条第 4 項にあります写真撮影につつまして、報道機関から事前
に申請がございましたので、これを許可することといたします。

それでは、本日の次第をご覧ください。今回ご審議いただく
内容は、審議方針に基づき、議題「令和 3 年度使用中学校用教
科用図書について」です。

まず始めに、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱に基
づき、会議録署名委員を指名いたします。委員長の私の他に石
田委員をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

石田委員

はい、承知いたしました。

委員長

ありがとうございました。では、石田委員、よろしく願
いします。

続いて、本日の資料について事務局の説明を求めます。事務
局、お願いいたします。

事務局

それでは、審議委員会に係る資料について説明いたします。

第 1 回審議会資料として既にお渡ししている資料は、1 点目、
資料 1、藤沢市教科用図書採択審議委員会規則、令和 3 年度使
用藤沢市教科用図書の採択方針、令和 3 年度使用藤沢市教科用
図書採択審議委員会委員名簿、令和 3 年度使用藤沢市教科用図

書に関する審議について（諮問）等でございます。

2点目の資料は、中学校用教科書目録（令和3年度使用）、特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和3年度使用）、小学校用教科書目録（令和3年度使用）をとじております。教科用図書は、これら教科書目録に搭載されているもののうちから採択するとされています。

続いて、第2回審議会資料といたしましては、1点目は、本審議委員会のもとに置かれました調査員によって作成されました「中学校用（令和3・4・5・6年度用）『調査資料』」です。これは、県の通知及び本審議委員会の方針を受けまして、学校教育に関し十分な経験と知識を有する者のうちから本市教育委員会が調査員として62名を任命し、調査研究をした結果をまとめたものでございます。今回、調査研究に携わりました調査員の氏名等につきましては、調査資料の最終ページに記載してございます。

2点目は、県より報告されました「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程 教科用図書調査研究の結果（令和3・4・5・6年度使用）」です。これは、県の選定審議会のもとに置かれた専門調査委員会が調査研究した結果でありまして、選定審議会を経まして県教育委員会から本市教育委員会へと送付されたものでございます。

3点目は、「令和3年度使用中学校用教科用図書調査書のまとめ」です。これは、各中学校長が自校の教師に県の調査研究の観点等に沿って調査研究させた令和3年度使用中学校教科用図書調査書の提出を受け、事務局でまとめたものです。各学校が調査の各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に丸をつけたものを集計し一覧にしたものと、各教科、種目別の観点、及び本校の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点について、その教科書が適切である理由として各学校が記述した内容を発行者ごとにまとめ、一覧にしたものです。

4点目は、「令和3年使用教科用図書意見書一覧表」です。これは、市民及び保護者向けに藤沢市役所分庁舎2階会議室において、教科用図書見本本展示会を開催した際にいただいた意見、感想を事務局でまとめたものでございます。

その他、サイドテーブルの資料についてです。小・中・特別支援学校の学習指導要領、教科書発行者が文部科学省から指示され作成した教科書編修趣意書、令和3年度使用中学校用教科用図書見本本及び特別支援教育関係教科用図書見本本の一部を用意しております。なお、令和3年度使用中学校用教科用図書調査書と令和3年度使用教科用図書意見書等についてもサイドテーブルに用意してあります。

なお、例年これらの資料をこの会場で傍聴の皆様にも公開しておりますが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症防止上、密な状況を避けるため、この場での公開はいたしません。後日、市役所市民相談情報課及び教育委員会のホームページで公開いたします。ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

ただいまの資料等の説明につきまして、何かご質問はございますでしょうか。特によろしいでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、質問がないようですので、これから議事に入ります。

議題「令和3年度使用中学校教科用図書について」審議してまいります。今年度は、令和3年度から令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択が行われることから、今回、審議委員会が審議を行うための資料として、調査員を置き調査研究を

行わせました。その調査資料の内容や各中学校の調査書のまとめ、県より出された教科用図書調査研究の結果等を使って審議を進めたいと思います。

続きまして、審議の進行について何かご意見はございますでしょうか。長田委員、お願いします。

長田委員　今回の進め方についてですが、各種目について、特に市の調査資料の大きなまとめである3観点を意識して進めていくというのはいかがでしょうか。

委員長　ありがとうございます。
他はいかがでしょうか。米倉委員。

米倉委員　私も長田委員の意見に賛成です。

委員長　他は、よろしいですか。
ありがとうございます。ただいま、市の調査資料の3つの観点を基にしてというご意見がありました。市の調査資料の3つの観点というのは、1つ目の観点が「編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容と構成、教科・種目別の観点」です。2つ目の観点は「分量・装丁・表記等」です。最後に、3つ目の観点は「本市の生徒の実態や地域等の特性との関連」ということになります。これら3つの観点のもとに、各種目ごとに進めてはどうかというご意見でしたけれども、皆さんいかがでしょうか。

各委員　賛成です。

各委員　結構です。

各委員 はい。お願いします。

委員長 よろしいですか。ありがとうございます。それでは、種目ごとに3観点を踏まえて、各委員から、これから意見をいただきたいと思います。

それでは、まず国語についてご意見をお願いします。小路委員、お願いします。

小路委員 それでは国語についてです。国語は4者から出ています。4者ともに、主体的・対話的で深い学びとなるような学習を進められるよう工夫されています。

東京書籍では、教材の理解につながるポイントが冒頭に提示されており、生徒が主体的に学べるような構成になっています。

三省堂では、「読み方を学ぼう」と「思考の方法」という項目が教材間の各所に配置されており、これらを3年間の中で取り組むことで、文章の理解の仕方や考えを整理したり深めたりするための方法が学べるので、自らの表現活動への参考にもしていくことができます。また、本文欄外に漢字、意味、類義語、対義語などがすべて色や記号で分けて掲載されていて、わかりやすい紙面構成となっています。

教育出版では、教科の学習内容を「学びナビ」として最初に提示し、生徒が主体的に学べるような構成になっています。

光村図書では、学習の手引きが上下2段に整理されていて、活動の流れをとってもわかりやすく捉えられるようになっていて、単元内で身につけていく力が焦点化されているので、生徒が主体的に学べるような構成になっています。さらに、「漢字に親しもう」というコーナーが各学年6カ所ずつ掲載されており、新出漢字や熟語の読み、書きなどの問題がバランスよく学習できる構成となっています。

委員長 ありがとうございました。他にご意見は。小池規子委員、お願いします。

小池規子委員 新学習指導要領の国語の目標においては、「伝え合う力を高め、思考力や創造力を養う」とございます。そのためには、心の豊かさは大切な要素であると思っております。

三省堂は、県の調査資料に、似た意味の語句と比較する課題が「語彙を豊かに」というコーナーに掲載されていると記されてあります。1つの言葉をきっかけに類義語の語句を広く学べるというふうに感じました。

もう1者ですが、光村図書ですけれども、単元ごとの「言葉を広げる」というコーナーで、言葉を集めたり選んだりする課題があって、よりよい伝え方を考える工夫がなされているなど感じました。また、読書活動の充実という点では、光村図書は、単元ごとに関連する本を紹介し、個に応じた深い学びにいなう工夫があるとともに、「本の世界を広げよう」というコーナーを設け、幅広いジャンルの本を紹介しており、生徒の興味関心の幅を広げられると感じました。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。志水委員、お願いします。

志水委員 私も3つの観点から4者を比べましたけれども、読書活動については、小池委員と同じように、光村図書がよく工夫されているというふうに思いました。その中で、私は、古文の1年生の共通教材である「竹取物語」について、表記・表現の観点からお話ししたいと思います。

どの者も見開きのページでカラーの挿絵を入れたりして、生徒の興味関心を引く工夫がされています。一方で、現代語訳の記載の仕方については違いがありました。3者は、1ページの

上のほうに原文を、その下に現代語訳を載せているのですが、市の調査資料にもありましたように、光村図書は、縦書きの原文1行ごとに現代語訳をすぐ横に記載しています。まだ古文に慣れていない1年生には、文節ごとに意味を理解しやすい表記の工夫だと思いました。この工夫は1年生だけで、2年生、3年生の古文教材は、他者同様、原文の下に書いています。学習段階にも配慮していると感じました。また、光村図書は、「竹取物語」の原文だけ字体を変えていることも、古文の雰囲気伝える工夫だというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。内田委員、お願いします。

内田委員 私は、観点3についてお話をしたいと思います。中学生の国語の授業を通して身につけてほしい力は、根拠を明確にして自分の考えを持つことです。

その観点から、三省堂は情報を収集して投稿文を書く活動があり、多様な価値観、ものの見方・考え方を拡充できるような教材が用意されています。

光村図書は、資料を引用しながらレポートを書く活動があり、情報活用能力の育成を図りながら取り組める教材が用意されています。このようなことから、本市の生徒の実態から、国語の教科書としては光村図書が適しているというふうに考えます。

委員長 ありがとうございます。他は、ご意見いかがでしょうか。長谷川委員、お願いします。

長谷川委員 中学校1年生と小学校3年生の2児の母です。長谷川と申します。よろしく申し上げます。

各者、学習指導要領に基づいてそれぞれ工夫された教科書であるということがすごくよくわかりました。その中で、小学生の息子の音読の宿題を一緒に見ているときに、新しく、小学校は今年二次元コードが教科書についていまして、それをスマートフォンでポチっとしたらきれいな写真、木の写真だったんですけれども、それが出てきました。

事前に見せていただいた中学校の教科書も、光村図書のところには二次元コードがついておりまして、それを見てみたら、きれいな鳥の声ですとか、作者のインタビューといったことがすごく興味を捉えるというか、とても関心を引いて、特に作品ですと作者さんの人となりですとか、どういった思いで作品を書いているというところがすごくわかりやすくて、また違う作品も読んでみたいという興味が湧いてくると思っております。

あと、観点3のところです。地域。私も鶺鴒沼中学校の保護者ですけれども、中学校になると学区がやはり広がってきて、本校の生徒で電車通学の子もいらっしゃいます。それで教科書が、私、見本を手にしたときに、とても立派だな、ずっしりして重いなと。もちろん内容がそれだけ充実しているんですけれども、一つ一つの教科書がとてもしっかりしていて重みがあるのを感じました。それを毎日生徒たちはリュックに入れて背負って通学してくる。

コロナの影響でいろいろ、分散登校とかありましたけれども、ようやく通常登校が始まり、今週から娘は、「置き勉、許されたんだよ」とか言って、教科書、荷物なんかを学校に置いてくることもあるんですが、中学3年生になると、やはり予習復習でなかなか置いてこられない。全部持ち帰ってお勉強するということが出てくると思うんです。

そのときに光村図書は、事前いただいた資料では、若干、他者の教科書よりも軽めだったと。わずかな違いではあるんで

すけれども、他に教科書、副教材、ノート、いろいろ含めますととても重いものになってきますので、内容が充実していて少し軽いものも、いいんじゃないかなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他にご意見いかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通して付け加え等、何かご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。

それでは次、書写に移ります。書写についてご意見をお願いします。志水委員、お願いします。

志水委員 それでは、書写につきましては4者がございました。私は、まず装丁の観点からお話をさせていただきます。

東京書籍と教育出版はA B判、三省堂と光村図書はB 5判でした。A B判は大きく見やすいという長所はありますけれども、毛筆学習で、硯や半紙等の横にお手本として置くならB 5判のほうが使いやすいのではないかなというふうに感じました。

次に、表記、表現の観点から見ますと、光村図書は、毛筆の筆の動きが視覚的にわかりやすい。朱墨、赤い墨汁の文字に加えて、筆の穂先の向きや倒し方が写真入りで示されていて、生徒が筆の運びを理解しやすい工夫がされていました。また、どの者も巻末に掲載している常用漢字表は、国語や書写の時間に使うことが多いものですが、3者は、楷書と行書は横並び表記

でしたが、光村図書は縦並び表記でした。これも、細かいことかもしれませんが、見やすく間違いにくい表記の仕方だというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。井上委員、お願いします。

井上委員 4者ともさまざまな工夫が見られると思いました。毛筆に親しませながら、また、日常よく使っている硬筆と結びつけて、正しく整えて書くということが日常の学習や生活に役に立つのだということ、知識からも体験からも深く知ることができるように適切に構成されていると思いました。それらの中でも、私も志水委員がおっしゃっていたように、B5判を使っている三省堂と光村図書が全体として見やすく扱いやすいと感じました。

三省堂は、巻の初め、1冊の初めに谷川俊太郎さんの「朝のリレー」が楷書で書いてあって爽やかな3年間のスタートという感じで、巻の1冊の終わりには、森山直太朗さんの「さくら（独唱）」の歌詞が行書で書いてあり、「旅立ちのとき」という大人になったという感じで3年間の流れが感じやすいなと思いました。また、1年生のまず最初に、自分の名前とか自分の字で書いておくコーナーがありまして、その下に「3年生の私の文字」というのがあって、3年間で自分の文字がどのように変わったかを並べて書けるところがあり、3年間の流れ、自分の成長を感じられる構成になっていると思いました。また、「やってみよう」という1年に1度の活動がありますけれども、グループ新聞、情報誌、それから名言集の作成を取り上げているのも、生徒の発達段階に応じた深い学びにつながると感じました。

それからもう1者、光村図書ですけれども、「書写ブック」と

いう小冊子が綴じこまれていまして、取り外して使えるようになっています。これは毛筆での文字の書き方を確認しながら、それを基に硬筆で繰り返し練習し、書く力を定着させる学習活動が効果的に行えるように工夫されていて、たいへんよいと思いました。また、教材の冒頭に文字の特徴や書き方のポイントを生徒同士で考えたり話し合ったりする活動があるということも、主体的・対話的な学びにつながるというふうに思いました。以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。越委員、お願いします。

越委員 藤沢の子どもたちのためにつながる会から来ております。小学校と中学校に娘がお世話になっております。よろしく願いいたします。

2番の「文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか」という観点から、今なかなかゆっくり文字と向き合う時間がない子どもたちに思えます。必要なときだから書く。例えば、授業中とか塾だからというときに、必要だから書くという文字のような感じがしています。せめて書写の時間だけは、ゆっくりと文字に向き合うという感じの時間をとってほしいなというふうに思っています。その書写の時間から、書くことの楽しさを知ってもらえたらというのが私、保護者の願いではあります。

そういった観点から、三省堂さんは、説明がとても丁寧で絵やイラストが多く、カラフルで、視覚的にも引き込まれやすいなというふうに思いました。また、のし袋や送り状、願書とか、社会生活に役立つ内容も、これは他の出版会社にも掲載はされていますが、今、のし袋とか送り状を書くときに子どもがそばにいるかといったら、なかなかそういった時間を設けることも

なく、私が教えるといったこともないので、せめてそういった当たり前のようなのし袋や送り状、手紙の書き方がぐらい、その形式はせめて学んでほしいなという思いもあります。

昨今の緊急事態宣言の外出自粛により、職場や学校でもオンライン化が急速に浸透している中ですが、オンラインの画面ではなく、手紙やはがきを書くことで思いが伝わる。そういったことも、今後は、私個人的には人として必要なことだと思っております。この書写の授業中に字を書くことの楽しさ、そこから好きという思いを見つけてくれる子どもが育成できたらなというふうに感じております。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小路委員、お願いします。

小路委員 私は、「本市の生徒の実態や地域の特性との関連」という観点から、書写という教科書を通して自分自身を振り返って自分を深めていけるかどうかという観点で考えてみました。

どの者も振り返ることについて大切に取り扱っています。三省堂では、習字で朱書きの行書と楷書を比べながら、気づきを促す構成になっています。さらに、硬筆でも「振り返ろう」という欄があり、自分の学びを確認できるようになっています。

東京書籍では、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」という4つの順番で学習を進める構成となっています。教育出版では、「試し書き」「考えよう」「生かそう」「まとめ書き」「振り返ろう」という5つの構成となっています。光村図書では、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」「学習を振り返る」という4つの構成になっています。

4者ともに、これらの振り返りのところで対話的な学習ができるようになっており、気づきを次につなげていけるような構

成になっていますが、その中でも光村図書は、先ほど井上委員からもありました「書写ブック」という小冊子を使って振り返ることができます。「書写ブック」があるということは、とても効率的に、週の中でも1時間取れるかどうか分からないという中で、短い時間で効率よく振り返っていく、深めていくのにはよいと思い、光村図書が適していると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体を通しましてご意見の付け加え等はございますか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ないようですので、次、地理に移ります。
地理につきましてご意見をお願いいたします。笹原委員、お願いします。

笹原委員 私は、地理的分野の観点、特に情報活用能力の育成という視点から教科書を見ました。特に、東京書籍と帝国書院の教科書が工夫されているなと感じました。

東京書籍では、世界地理の節ごとに「資料から発見！」という特設ページを設けて、シリーズで資料を活用する力を育てようという意図が強く感じられました。

また、帝国書院では、「技能をみがく」という特設ページを23カ所設けて、地図やグラフ、統計資料等から地理的事象を読み取る力を養う工夫がなされているなと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。千葉委員、
お願いします。

千葉委員 私は学習指導要領の改訂の要点を踏まえた点からお話ししたい
と思います。私は帝国書院の教育出版についてお話しします。

帝国書院は、興味・関心を引き出す画像資料などが充実して
おり、主体的な学びが実現できるようになっています。また、
実社会の人々の声や取組を豊富に掲載し、それを基に対話的な
学びを実現しようとしています。さらに、地理的な見方、考え
方に基づく考察、調査、構想活動を充実させて深い学びが実現
できるように配慮されています。

一方、教育出版は、特設ページを設けるなどして、主体的・
対話的で深い学びを実現できるように工夫しています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小路委員、
お願いします。

小路委員 私は、「分量・装丁・表記等」の観点からお話をしていきます。

帝国書院は、資料と本文のバランスがよく、授業を進めるの
に生徒が見やすい構成になっています。また、教科書の本文の
活字が読みやすく、資料との見分けがしやすいところも生徒に
とって、とても見やすく進めていけるとと思います。

また、教育出版は、資料の写真と図表の割合がよいので、目
で見て実感し理解することと、数字や表から読み取り理解して
いくことの両方で十分に生徒が授業の中で活用できる、そうい
うふうに考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。笹原委員、
お願いします。

笹原委員 社会科の学習には、よりよい社会の実現を目指して主体的に
社会に参画する態度を育成するというねらいがあります。そう
した視点は、職業体験、これは本市で中学校がよくやっている
んですけれども、今年度は新型コロナウイルスの関係で非常に
厳しい状況ではあるんですけれども、そうした実態と深く結び
ついていると思います。そうした点で、私は東京書籍と帝国書
院の教科書が工夫されているなと感じました。

東京書籍では、日本各地の人々が自分たちの仕事や生活の様
子を語るインタビューを充実させ、具体的に職業を身近なもの
として感じさせる意図を強く感じました。

帝国書院では、実社会の人々の具体的な話を紹介するコラム
「声」を18カ所設け、働く人の生の声に触れることを通して、
勤労を重んじる態度を養おうとしているなと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。千葉委員、
お願いします。

千葉委員 今までご発言された方々のご意見を伺って、私は、総合的な
観点から帝国書院がよいのではないかと思いました。特に帝国
書院については、学びを人生や社会に活かせるように、地域社
会の取組事例を掲載し、学びに向かう力・人間性を涵養しよう
としているところがとてもよいというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他は。長谷川委員、お願いします。

長谷川委員　先ほどの千葉委員のお話にすごく共感したんですけれども、帝国書院の教科書には防災にも触れている箇所があって、東北の箇所なんですけれども、東日本大震災のことについて、子どもたち、その後の取組なども載っています。地理でどこに何があるとかを何で覚えることも必要だと思うんですけれども、そこから、そのときに何があった、特に今の中学生は東日本大震災のときはまだ幼稚園生、保育園児、小さかったわけですし、それから下の子たちはほとんど何も情報とかがわからない状況になっていくんです。でも、昨今地震もよく起きていますし、そういったところで、「ああ、こういうことがあったんだ、自分たちも気をつけなきゃいけないな」という知識の幅を広げる、そういったところにも結びつく観点かなと思いました。

以上です。

委員長　ありがとうございました。他はいかがでしょうか。

各委員　なし。

委員長　よろしいですか。全体を通して付け加え等、何かご意見はございますか。

各委員　なし。

委員長　それでは、ないようですので次、歴史に移ります。歴史につきましてご意見をお願いします。千葉委員、お願いします。

千葉委員　私は、学習指導要領の改訂の要点を踏まえた点からお話したいと思います。私は、東京書籍、帝国書院と教育出版についてお話ししたいと思います。

東京書籍は、導入部に探究課題を設けたり、毎時間の学習課題を設定したりするなど、課題解決的な単元構成で主体的な学びが実現できるようになっています。また、導入部やまとめの部分など対話的な学習場面を取り入れられるように配慮されていました。さらに、「見方・考え方」をわかりやすく説明した後、それを深め、働かせる場面が設けられており、深い学びが実現されるように工夫されています。

一方、帝国書院は、各章の問い、節の問い、学習課題など、まとめや振り返り活動を充実させることにより、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫しています。

また、教育出版も、学習内容において学習課題が示され、その学習課題を深める問いを用意することで、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしています。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。笹原委員、お願いします。

笹原委員 私は、歴史的分野の観点からお話をさせていただきます。どの教科書も歴史的事象を多面的・多角的に捉えさせようという工夫がなされているなど感じました。その中でも、帝国書院、山川出版、日本文教出版の3者が特に印象に残りました。

帝国書院では、「多面的・多角的に考えてみよう」を掲載して、関連する資料から問題の解決を図る学習活動を積極的に取り入れているように思いました。

山川出版は、各章末に「まとめ」を掲載して、各時代の特色をさまざまな立場から振り返らせる工夫をしているように思いました。

日本文教出版では、編ごとに「アクティビティ」が設定されており、歴史的事象を時期や内容、立場を変えて表にまとめる

作業を取り入れていて、いいなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。石田委員、
お願いします。

石田委員 私は、教科書の「分量・装丁・表記等」、生徒に使いやすい工
夫がなされているかという観点でお話をしたいと思います。そ
の中で、東京書籍、育鵬社、学び舎についてお話しします。

東京書籍は、社会科で習得すべき知識や概念を発達段階に応
じて過不足なく盛り込んでいます。また、歴史学習を進める上
で、生徒がつまずきやすい事項について巻末の用語解説で補足
説明するなど、生徒が使いやすいように配慮されています。

育鵬社は、学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ
でまとめられていて、レイアウトがよく、見やすい紙面になっ
ております。

学び舎は、判型がA4判で豊富な資料と記述を盛り込めるよ
う工夫がなされていると思います。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。内田委員、
お願いします。

内田委員 私からは、観点3についてお話をしたいと思います。

東京書籍は、各章、各時間の学びが一貫しており、全ての生
徒が学びやすくなっていると思います。

教育出版は、時期や推移、比較、関連の視点を例示し、時代
観の共通点や差異、そして因果関係や時代との関連についての
課題を考えさせています。

そして、両者ともに後醍醐天皇の肖像画は「清浄光寺[遊行寺]
蔵」として表示されており、本市の生徒に対して地域の歴史へ

の関心を高めさせているものとなっているように思いました。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小池直美委員、お願いします。

小池直美委員 養護学校の児童の保護者として参りました小池と申します。よろしく申し上げます。

私は、「分量・装丁・表記等」の観点からお話ししたいと思います。支援学校に通う子どもは、教科書を見たときに、ぱっとまずイメージで目から取り込むと思うんです。私は、この表記の点から見せていただきました。

日本文教出版と帝国書院の教科書は、ページの端っこのほうにちょうどペラペラめくる部分が年表になっていて、色分けもされているので、ページを探すときにとてもわかりやすいなと思いました。

東京書籍ですが、私がぱっと開いてみたときにまず感じてしまったんですけれども、写真と文字とがページにたくさん敷き詰められてしまっていて、いざこの教科書を「さあ、読もう」と開いたときに、たくさん情報があり過ぎるなど、ちょっと感じてしまいました。しかし、特別支援教育の観点から、キャラクターを本文ページからなくし、必要な情報に集中できるようにしていると資料にありましたので、その辺を見てみると、確かに本文の部分のところはとても見やすかったように思います。

それと、文字についてですけれども、ユニバーサルデザインフォントは今や全ての教科書に採用されていますけれども、東京書籍は、フォントだけでなく、見やすい色味や振り仮名が多い文章を少なくしたり、それから、グラフではわかりづらい波線や点線を少なくしたりなど、たくさんの配慮がされていて、そういった点では取り組みやすいのかなと感じました。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。長谷川委員、お願いします。

長谷川委員 各者の教科書を見せていただいて、私が目に入ったポイントは年表です。各時代ごとに学習をされていくと思うんですけども、どの時代にしても年表があって、どこの年代をやっていますか、どの時期ですかというのがハイライトになっていたりする表示がありまして、それが教育出版、帝国書院、東京書籍の3者でした。

先ほど小池委員が言われたように、東京書籍は、ちょっといろいろ情報量が多過ぎて、年表も少しわかりづらいなと思いました。時代ごとで歴史は続いていくものですので、そういった変遷も把握できるような年表があると、生徒たちの理解が深まるんじゃないかなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。よろしいですか。千葉委員、お願いします。

千葉委員 長谷川委員のご意見や小池委員のご意見などもありましたけれども、今までお話があった方々のご意見等を伺って、総合的な観点で言えば東京書籍がよいのではないかなと自分では思いました。特に東京書籍については、社会科の他の分野、他教科との関連を示す分野関連マークや他教科関連マークが表記されており、横断的な視点からの構成もみられ、とてもよいと私は思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他、ご意見いかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通してご意見の付け加え等はございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 それでは、特にないようですので、次、公民に移ります。公民につきましてご意見をお願いいたします。井上委員、お願いします。

井上委員 私は、「内容と構成」、また「分量・装丁・表記等」に注目したんですけれども、各者とも知識・理解に偏ることなく、生徒が社会的な見方・考え方を働かせて、社会的事象について多面的、多角的に考察する、また、課題を追究・解決するという活動の充実を図る工夫がなされていると思いました。

特に東京書籍ですけれども、ページの随所に「チェック」「トライ」、「集める」、「見方・考え方」などのキーワードで、活動のヒントとか、きっかけが散りばめられています。資料も充実していて、自学自習にも適していると感じました。ただ、逆に、周りの資料で本文が圧迫されているような印象もあります。先ほど小池直美委員からもありましたけれども、多くの情報から取捨選択する能力の育成というものも非常に大事なので、そういう意味ではよいのかもしれないんですが、ただ、生徒によっては情報が多過ぎると感じる場合もあるかもしれないと感じました。

その点、帝国書院は、全体にソフトな色合いで見やすい印象がありました。各章の導入に「まちの絵」を用いていて、これから学習する内容について具体的に課題を見つけられるように

構成されています。また、章の終わりに、「章の学習を振り返ろう」というコーナーがありますけれども、その「知識のまとめ」のところには二次元コードがあり、その解答が見られるんです。ですから、うちで自学自習、そこのまとめができるなとも思いましたし、さらに、思考力・判断力・表現力を養う、考えを整理して意見交換する課題が毎回そこに用意されています。課題が興味深くて、本市の生徒が使いやすいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。笹原委員、お願いします。

笹原委員 私は、「学習指導要領との関連」の観点からお話をさせていただきます。どの教科書も、思考力・判断力・表現力等の育成を目指すためにさまざまな工夫をしているなとも思いましたが、その中でも東京書籍、帝国書院、日本文教出版の3者が特に印象に残りました。

東京書籍では、各単元の学習を段階的な問いで構造化して、細かいステップで課題を解決させるということを通して、思考・判断した内容を適切に表現する力を身につけさせようとする意図が感じられました。

帝国書院では、アクティブ・ラーニング型の授業を行える「アクティブ公民」を特設し、社会的な見方、考え方に基づいた論理的な説明と、さまざまな立場を踏まえた合意形成を目指す議論が行われる、そんな工夫が見られました。

日本文教出版では、編ごとに「チャレンジ公民」を設け、「自分たちのまちの首長を選ぼう」など、与えられた資料から社会の課題について考察し、生徒が判断基準を踏まえて表現することができるような教材を取り入れているなと感じまし

た。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。千葉委員、
お願いします。

千葉委員 私は公民的分野の観点からお話ししたいと思います。私は東
京書籍、帝国書院と教育出版についてお話ししたいと思います。

東京書籍は、章末に「見方・考え方」を活用する課題が設定
されており、「見方・考え方」を働かせる学習ができるように工
夫されています。また、それぞれの立場で物事を考え、意見交
換する場が設定されており、社会的事象について、生徒が多面
的、多角的に考察し、表現するための配慮がなされています。
さらに、我が国や国際社会が抱える現代的な諸課題を取り上げ、
その背景や経過に目を向けながら課題を追究・解決する活動が
できるように工夫されています。

帝国書院については、公民的分野で鍛える「見方・考え方」
の活用機会を積極的に設ける点に工夫が見られます。また、社
会に見られる課題解決に向けた選択や判断に取り組む活動が行
えるように配慮されています。

教育出版も、冒頭で提示された「問い」に対して答えること
で、課題を追究、解決する活動ができるように工夫されていま
した。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小池規子委
員、お願いします。

小池規子委員 私のほうは、まず観点2の表記等のことでお話をさせてい
ただきます。6者の教科書、それぞれ学習内容ごとに本文、資

料などが見開き２ページでまとめられておりまして、見やすくする工夫がなされていると思われました。育鵬社の教科書ですけれども、関連事項を取り上げた「学習を深めよう」というコーナーを設けておりまして、生徒が使いやすいように工夫されておりました。

次に、観点３でありますけれども、本市の生徒にとりまして、コンビニエンスストアの利用はたいへん身近なものというふうに思います。東京書籍の「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、コンビニに関するさまざまな知識を得ることができまして、生活に密着した内容で、参加型学習による対話的な活動ができる工夫がなされていて、とてもよいなというふうに思いました。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。笹原委員、お願いします。

笹原委員 新学習指導要領では、今、各委員からご発言があったような視点以外に、「学びに向かう力」、「人間性等の涵養」ということについても強く求められておりますが、そうした観点から見ても、やはり私は東京書籍と帝国書院が優れているなと感じました。

特に東京書籍では、特設で「もっと公民」を設け、学習内容がどのように活かされているのかを取り上げ、読み取る活動が取り入れられていました。

帝国書院でも、学習内容を活かしたり、関連した取組を行っている人へのインタビュー記事「先輩たちの選択」という特設ページに掲載されておりました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体を通してご意見の付け加え等はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 ないようですので、次に地図に移ります。地図につきましてご意見をお願いいたします。笹原委員、お願いします。

笹原委員 私は、学習指導要領との関連の観点からお話をさせていただきます。

東京書籍では、巻頭に国際連合の持続可能な開発目標（SDGs）を特集するページを設けて国際社会が抱えるさまざまな課題を理解するように編修されているなと思いました。

一方、帝国書院では、巻頭にさまざまな地図の活用方法のポイントが説明されており、「地図帳の使い方」を掲載し、資料から地理的事象を読み取らせる工夫が見られました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。千葉委員、お願いします。

千葉委員 私は、地図帳について、地図の観点からお話ししたいと思います。

帝国書院の地図帳は、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、資料図などが適切に配置されており、巻末には索引が設けられています。また、理科年表2019年のデータを掲載するなど、

統計や各種の資料に最新のものを使用しており、データに信頼性があります。さらに、地図帳の巻頭部分に地図帳の活用方法が示されており、生徒が自主的に学習に取り組めるように工夫されています。

東京書籍の地図帳は、巻末の統計資料が2016年から2017年のデータを基に作成されており、新しいデータを使うように努めているところが感じられました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。長田委員、お願いします。

長田委員 私は、「編修の趣旨と工夫」「内容と構成」の部分についてお伝えしたいと思います。

2者の地図について見せていただいた中で、地図の活用を地理に限定した形だけではなく、歴史や公民でも活用する視点で資料としての側面を持ちながら編修されている東京書籍に興味を持ちました。ニュースやドキュメンタリーを見ているような内容で、写真やグラフ、図など、たくさんの資料に引き込まれました。例えば、日本が常に直面している自然災害については、地図の中で考えさせる内容が充実しています。

東京書籍も帝国書院も、知識を身につけるだけでなく、教科書とともに活用することで、事象や地図から読み取れる内容を生活の中にどう活用するかを考えさせるつくりになっていると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。笹原委員。

笹原委員 東京書籍は、教科書での学習内容を補完したり、より深めた

りする、いわゆる「教科書準拠資料集」としての役割を持たせているのではないかなと感じました。

一方、帝国書院では、地図中に設けた作業コーナー「地図活用」において、生徒自らが学習課題について主体的に考え、社会の形成に参画する意識を育むことができるように編修されているなと感じました。さらに、日本の各地方において防災をテーマとする資料が充実しており、本市の生徒を対象とした防災教育にも適切な地図帳であると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通してご意見の付け加え等はありませんか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ないようですので次、数学に移ります。数学についてご意見をお願いします。米倉委員。

米倉委員 「学習指導要領との関連」という点で、数学は7者とも数学的活動を通して單元ごとに主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫が凝らされているなと思いました。問題を発見して、見通しを立てて、解決までの過程を振り返って、深められるという東京書籍。それから、問題発見から解決までの流れが示されているのは大日本図書です。問題発見の場面設定で、今行う学習の必然性が明確になっている学校図書、学習しながら新たな問いを見出せるようにしている教育出版。それから、

章の学びの中で問題解決の過程を体得させるようにしている啓林館。数研出版は「探究ノート」というものを使って問題解決の力を高めようとしています。見通しをもてるように学習の最初に「めあて」を示している日本文教出版という形で、全ての者が新学習指導要領の学びの実現に力を入れていると思いました。

東京書籍なのですが、「深い学びのページ」というものが2年生にありまして、数の並びから性質を見つける問題があったんですが、話し合いながら、既習の知識をどのように使えるかを見つけられるようにとても工夫がされていて、これに気づいたらとても面白くて仕方ないだろうなという感じがいたしました。

委員長 ありがとうございます。他はご意見いかがでしょうか。越委員、お願いします。

越委員 数学の7者の中から私は数研出版のものにとっても魅力を感じました。図などをたくさん使い、わかりやすく解説がついていたと思います。ものによっては文字を読まなくても、図や挿絵だけで理解できるようなものも出てきました。

休校期間中に中3の娘が、授業では習っていない因数分解の課題が出ており、教科書やワークを使って4日間かけて何とか因数分解を克服したんですが、その克服するまでに別の教科書以外のテキストも開いてみましたが、結局教科書に戻りました。そういった姿を見ていると、やっぱり生徒にとって教科書が一番信頼の置けるものでないといけないというふうに感じました。そういった観点から数研出版のものは、因数分解までも図形で解説されていて、苦手な子どもでもとてもわかりやすいようになっていました。

また、先ほど米倉委員がおっしゃられた「探究ノート」とい

うものがついていて、これの目的は、見方、考え方、働き、問題を解く力が高まるということなのですが、中を見ると、キャラクターも取り入れてあり、一見簡単そうに見えるのですが、応用問題とは違って、教科書からちょっと離れ、頭を少し休憩させながら、違う角度から数学に入るような形になっていて、数をこなすことが大事な数学にとっても役に立つなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。石田委員。

石田委員 私は、「内容と構成」の工夫について特に優れているなと思いましたが3者についてお話ししたいと思います。

まず、東京書籍です。3年間を通して、「Q」や「深い学びのページ」で見方や考え方を働かせるように課題を設定していました。取り組むことについて、重ねるごとに生徒自身がこの前使った考え方がまた使えるのかなど、学びをつなげられるようにしています。生徒の主体的な取組、また、他の生徒との対話につながると思っています。

教育出版は、既習事項を確認できる構成になっていて、新しい単元に入る前に、その章の学習をする前という形で設定されておりまして、子どもたちがその後の章の学習について考えが深められるような構成になっております。

また、大日本図書ですけれども、問題に「めあて」が示されていて、何を学ぶかがわかり、自分で取り組みやすく感じていると感じております。

以上でございます。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。内田委員。

内田委員 私からは、観点2について、学校図書と東京書籍のことについてお話をさせていただきます。

まず、学校図書は、「数学的活動のページ」の端にどのような過程で学習しているのかがわかる色分けがされていて、たいへん視覚的に見方や考え方の流れが捉えやすくなっているのではないかなというふうに思いました。

東京書籍は、色使いが落ち着いていますが、「めあて」や問題、マークなどが色が統一されていて、たいへんわかりやすくなっているように感じました。問題をやってみて、わからなかったら戻って確かめるページの表示や、もう少し発展的にやれるページが示されていて、生徒が自分自身で学習を進めるにあたって、たいへん使いやすい、わかりやすいなというふうな印象を受けました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。百武委員、お願いします。

百武委員 本市の生徒ですけれども、学習状況調査の結果から、知識に関する問題の正答率に比べて、活用に関する問題の正答率が低い傾向にあります。

東京書籍は、「数学マイノート」で課題解決の過程を振り返ることができるノートづくりを3年間継続して学び、そして「学びをひろげよう」で、日常の情報を活用して考えることが行えるので、先ほどお話ししましたけれども、その本市の学習状況調査の結果で現れている傾向を改善することができる、そのような力を身につけられるのではないかなというふうに思いました。

また、教育出版には、空間図形の学習の場面で湘南台文化センターの写真が掲載されています。身近な場所の写真があるこ

とで、子どもたちは親しみから興味関心を持って学習に取り組むのではないかなというふうに思いました。

また、学校教育ふじさわビジョンの基本理念の3つの知の1つ、「かかわりの知を育む」という視点から、SDGsに触れ、国際的な課題に取り組むことができるように工夫している学校図書は、社会との結びつきをつくろうとする知を育むことができるのではないかなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他にいかがでしょうか。小池直美委員、お願いします。

小池直美委員 先ほどのお話にもちょっと重複してしまうところがありますけれども、7者全てに採用されていたことですが、授業で学んだことをノートにまとめるというのはとても大事なことですけれども、苦手とする科目は特に苦勞するところです。ノートづくりのポイントやまとめ方というページで、授業で学んだことをどの者も書き方がとてもわかりやすく載っていて、自分の時代にこのような教科書があったらよかったなと、とても感心しました。

それと、学校図書、東京書籍、大日本図書、教育出版、日本文教出版、この5者の巻末には、ミシン目でページを切り離して、実際に組み立てて学べる付録があり、立体的に学べ、数学に親しみと関心ももてるとてもよい取組だなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょう。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体を通しましてご意見の付け加え等
はございませんか。

各委員 なし。

委員長 それでは、今、数学まで審議が終わりましたが、審議の開始
から1時間以上経過いたしましたので、ここで10分間ほど休
憩を取りたいと思います。この会議室のあちらの右側の時計が
現在10時43分ぐらいを指していますので、審議の開始は
10時55分からとさせていただきます。よろしく願いいた
します。

それでは、休憩といたします。

午前10時43分休憩

午前10時55分再開

委員長 それでは、ただいまより審議を再開いたします。

数学まで終わりましたので、理科から審議をしていきたいと
思います。理科についてご意見をお願いします。石田委員。

石田委員 まず、「学習指導要領との関連」等について、各者のお話をし
たいと思います。

東京書籍は、主体的・対話的で深い学びを実現するためにマ
ンガの解説やコラムなどが適切に設けられ、学習過程の中で自
然な探究の流れがつくられるようになっています。

大日本図書は、資質、能力を育成するための学びの過程が明
確に示されていて、主体的・対話的で深い学びの授業のための
活動の流れを「結果から考えよう」等のマークの指示などで簡
潔に示される工夫が見られます。

学校図書は、多様性と問題解決能力の育成を者の編修方針と

しており、「気づき」から「考察」までの探究の過程の例が示されていて、「探究のページ」が設けられ、課題を明確に捉えるように構成されています。

教育出版は、主体的・対話的で深い学びについて、キャラクターの対話モデルや「話し合おう」のマークなどの配置によって親しみやすく学習を進められるような工夫が見られます。

啓林館は、巻末の「サイエンス資料」に話し合いと発表の要点が示されていて、主体的・対話的で深い学びの学習態度を育てるための工夫が見られると感じます。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。野村委員。

野村委員 私は、理科の観点、特に科学的に探究する力の育成について、東京書籍、大日本図書、学校図書を挙げて話したいと思います。

まず、東京書籍ですが、生徒が理科の視点や考え方を働かせやすいように、「課題」から「課題に対する結論を表現しよう」まで、実験のプロセスと思考の過程が説明されています。これは科学的に探究する力の育成という点でたいへん効果的な構成であると思われます。

大日本図書は、石田委員のご発言にもありましたように、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」など、マークによる呼びかけで学びに向かう態度が明確に示されており、科学的に探究する力の育成に大きく寄与していると思います。また、発展的な学習への見通しを持たせた「やってみよう」が各所に設けられ、生徒の体験的な学習活動の充実が図られるよう、大きく工夫されていると思います。

学校図書では、気づき、課題、仮説、計画、方法、結果、考察という探究の過程の例が一連の流れで説明されています。特に考察の書き方の具体的な内容が丁寧に説明されており、「Can Do List」にも探究の道筋と案内が詳しく紹介されていて、よい

と思います。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。
百武委員。

百武委員 私は、大きさとか重さの部分からお話をしたいと思います。
まず、東京書籍ですが、縦がA4、横がB5で、いわゆるちよ
っと縦に長いサイズです。広げると、観察や実験の手順が
たどりやすいなというふうに感じました。

また、学校図書、教育出版、啓林館は、大きさが微妙に違う
ところもあるようですけれども、縦がB5で横がA4のサイズ
です。このサイズなので、広げると横に広がります。図が大
きくて見やすい。見やすさという部分で見やすいなというふう
に思いました。

大日本図書は、B5判で他の4者よりも小さいのですが、図
とかその辺はバランスよく配置されていて見やすいなというふ
うに感じました。学校の教室の机の大きさというのは昔からあ
まり変わりません。ですから、教科書とノートの両方を広げて
学習するには、この大日本図書のサイズは適していると思いま
す。また、理科ですから、屋外に教科書やノートを持ち出して
観察をするような場面もありますが、このときにも小さいサイ
ズというのは有効かなというふうに思いました。

また、重さですけれども、最初の国語のところで長谷川委員
もお話をされていましたが、中学生というのは部活動もあって、
荷物もかなりの重さになります。この点、重さが軽めにつくら
れている学校図書、それから大日本図書は、毎日自宅に教科書
を持ち帰って家庭学習をするときにも、生徒への負担は小さい
だろうなというふうに思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。米倉委員、
お願いします。

米倉委員 私は、本市の生徒に身近に感じられる教科書として、大日本
図書を挙げさせていただきます。新江ノ島水族館が紹介されて
います。それから、気象のところでは片瀬の東浜の写真があり
ます。自然環境の学習では、寒川の取水堰の魚道の写真が掲載
されています。そして、八ヶ岳に行くとみんなが目にする野辺
山宇宙電波望遠鏡の写真と、身近な場所の写真がたくさん掲載
されています。調査資料によると本市の百葉箱も掲載されてい
るということで、それだけで、そのページを開きますし、そこ
で何を学ぶか興味が湧くと思います。

同様に、学校図書では、津波避難の表示の紹介で藤沢の海岸
の写真が掲載されていたり、啓林館ではリチウムイオン電池を
開発した吉野彰さんを紹介しています。生徒が開きたくなる教
科書だと思いました。

また、先ほど野村委員が触れていたところですが、大日本図
書は、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよ
う」「振り返ろう」「話し合おう」という活動で、キャラクター
の会話の場面で、対話の学びを促して、思考力や判断力を育て
るようにしているなと思いました。本市の生徒は、知識の定着
だけではなく思考力や判断力、表現力を育成していくことが求
められているように思います。これらのことから、大日本図書
は本市の生徒に適しているのではないかなと思っております。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通しまして付け加え等、何かご意見

はございますか。

各委員 なし。

委員長 特にないようですので、それでは次に音楽（一般）に移ります。音楽（一般）につきましてご意見を申し上げます。井上委員。

井上委員 音楽ですけれども、2者とも主体的で協働的な学習の展開ができるように、演奏や鑑賞の場面で話し合うような課題を提示していたり、それから、教科書に書き込むワークのような部分を設けたりするなど多くの工夫があります。

私は、特に「編修の趣旨と工夫」について注目したのですが、教育芸術社が、音楽を通して生活や人生を豊かにするのだということ、それから、音楽教育とSDGsを結びつけて、音楽を通して社会に貢献するのだということ、それを編修の基本に置いているということが教科書の内容にも大きく関わっているというふうに感じました。3年間で使用する3冊がありますが、その3冊とも、最初のページに「音楽ってなんだろう？」という問いかけとともに、野村萬斎さん、松任谷由実さん、谷川俊太郎さんなどの語りがあって、子どもたちが音楽というものに興味を持って学び始められるというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。石田委員。

石田委員 私は、2者の特徴的な編修の工夫についてお話ししたいと思います。

教育出版については、二次元コードが非常にたくさん出ておりまして、「まなびリンク」になって、非常にたくさんの画像と

か映像、音源がそこにさまざまな形であります。模範演奏とかワークシートなども出ておりますので、生徒自らが興味を持って学びを深める工夫があると思います。

教育芸術社ですけれども、二次元コードで作詞者、作曲者で調べたり、歌曲の歌詞を原語で朗読したりと、そういう形で役立つものがあること。また、何よりも、編修の趣旨で、生徒に育みたい資質・能力として、「音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力」、「音楽の幅広い知識や技能」、「主体的・対話的で深い学びの表現によって得られる汎用性の高い学力」を挙げている点がすばらしいと思いました。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。長田委員。

長田委員 私は、2者を検討する中で、音楽科が目指すつきたい力、その内容について、学習指導要領の内容に即した形で「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を身につけるのに、発達段階に応じて活用しやすいのは教育芸術社だと思いました。

音楽の専門的な見地から、わかりやすい解説、取り組みやすい部分が随所に見られています。週1時間の音楽の中で取り組める内容には限度があります。生徒に興味を持たせ、自ら練習してみたい、できるようにになりたい、もっと鑑賞してみたいという意欲につながるアプローチが施されていることで、主体的に取り組む態度が養われていくと思います。教職員にとっても、内容を幅広く伝え、さらに学びを深めるためにも、充実した内容となっていると感じます。私たちにとって音楽とは何かという本質に迫る問いかけから学ぶことを通して、生徒自身で導いてほしいという願いが伝わってくると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体を通しましてご意見の付け加え等はございませんか。

各委員 なし。

委員長 それでは、特にないようですので、次に音楽（器楽合奏）に移ります。音楽（器楽合奏）につきましてご意見をお願いいたします。石田委員。

石田委員 私は、2者を見る中で、特に教育芸術社についてすごく感じたものをお話ししたいと思います。カラーのページがすごく多くて、楽器の説明とか奏法などがたいへんわかりやすく表記されております。自分1人でも楽器演奏に興味を持って取り組んでいけるような、そういう丁寧な装丁になっていると思います。また、本市は多様な音楽に親しむ地域でもあり、クラシック、ジャズ、ポピュラーの各分野において、現在でも活躍しているプロの演奏家が非常に多く、中学生もそれぞれの楽曲において地域と関連づけながら学ぶことができると思っております。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。井上委員、お願いします。

井上委員 私は、「内容と構成」、また、「分量・装丁・表記等」に注目したんですけれども、音楽のほうで石田委員が述べられたように、器楽についても教育出版は情報量が多くて、二次元コードを用いた、「まなびリンク」の内容もたいへん充実をしています。

教育芸術社は、全体的にシンプルで目に優しい印象があります。写真の上に文字が重なったりしていると見にくいですが、そのような部分に配慮があって、藤沢市の調査資料の中にも、「五線の太さや音符の大きさなどが見やすい」というふうにありました。それから、本の綴じ方が、糊製本というのでしょうか。糊による製本ではなくて糸による製本なので、開いたときに、ぱたっと完全に平らになるんです。それは、多分、歌唱とか演奏をするときにたいへん便利であると思うので、そういう点も評価できると思います。また、一番初めに「アンサンブルセミナー」というページがありまして、話し合っただけで演奏するコツとか秘訣について記述があるんですけれども、これも協働的な学習に非常に適しているというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。長田委員。

長田委員 教育出版と教育芸術社と、どちらも生徒が主体的に取り組めるように工夫されていると思います。どちらも専門家のアドバイスを活かしながら、さまざまな楽器に触れる機会を提供しています。ギターの手振りや篠笛の奏法など、「やってみよう」と思える工夫があります。

特に教育芸術社は、小学校からさらに専門性が高くなり、各楽器の解説や奏法、楽しみ方など、前回の採択のときから一段と工夫しています。主体的に取り組もうとする生徒には、ガイドの役割を果たし、繰り返し練習がしやすいのではないかと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通しましてご意見の付け加え等はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 それでは次、美術に移ります。美術につきましてご意見をお願いいたします。志水委員、お願いします。

志水委員 美術は3者ございます。3者とも、小学校の図画工作科から中学校の美術科というふうに教科名も変わる1年生の導入部分の工夫ですとか、それとともに鑑賞と表現の教材を効果的に配置しておりまして、生徒が主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされておりました。

開隆堂は、題材ごとに学習の目標や学習のポイントを端的な言葉で生徒にわかりやすく伝えていきます。

光村図書は、巻頭に「うつくしい！」という文章やさまざまな国、地域、時代の作品を掲載していきまして、生徒が身の回りの美しさに気づき、美術をなぜ学ぶのかと感じ取れるようになっていると感じました。

日本文教出版は、市の調査資料にもありましたように、社会で活躍する松任谷由実さんなどのアーティストによる「学びの言葉」や、1年生のオリエンテーションにアニメーションを掲載するなどして、美術を身近に感じる工夫が随所にありました。また、日本文教出版は、本文の題材のすべてに、どんな工夫を活かしているのだろうか、どのように工夫されているのかなどと問いかけるように吹き出しを記載しています。活動する上で自然に造形的な視点を身につけられるような工夫は、生徒の深い学びにつながるものだなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。他はいかがでしょうか。野村委員、
お願いします。

野村委員 私は、美術の観点からお話をさせていただきたいと思います。
今、志水委員のご発言にもあったんですけども、3者ともペ
ージに「表現」、「鑑賞」という見出しが明確に記されておしま
して、学びへの基本的指針が簡潔に明示されていると考えてい
ます。

開隆堂は、各題材の中に、これも志水委員のご発言にもあつ
たところですが、表現するためのわかりやすい手だてを説明し
た「学習の目標」や「学習のポイント」が設けられています。
また、1年生の「学びの地図」では、美術の学習内容が簡潔に
紹介されています。

光村図書は、各単元の始めで印象的な言葉により学習シー
ンが丁寧に説明されていまして、生徒が自らの思いを表現するた
めの手だてに工夫が見られます。また、単元ごとに「表現」、「鑑
賞」のアイコンが交互に配置されて、視点と思考の移動がスム
ーズになるよう配置されています。

日本文教出版は、題材の冒頭に生徒の作品、作家の作品とと
もに図版が効果的に配置されています。作者の言葉や解説など
も記されていまして、制作の意欲や創造力を高めていると思
います。また、1年生の巻頭では、小学校から中学3年までの学
びを系統立てて説明してありまして、美術全体の捉えとして、
学年が上がってもたいへん有効に活用できるものではないかと
思います。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。百武委員。

百武委員 生徒と地域との関連についてですが、3者とも神奈川県出身の芸術家の作品を取り扱っていたり、神奈川県の風景が作品になっていたり、あるいは神奈川県にある美術館が所蔵、展示している作品を掲載するなどしています。

例えば開隆堂では神奈川県立近代美術館で所蔵している松本竣介さんの「立てる像」を載せていたり、光村図書では鎌倉彫の箱について載せていたり、日本文教出版では、はやぶさ2でおなじみのJAXAや、川崎市出身の芸術家岡本太郎さんについて詳しく載せてあったり、生徒が親しみを感じたりすることで、美術が苦手だなと感じる生徒でも、意欲的に創作活動に取り組める、そういうことに役立つのではないかなというふうに感じました。

また、ページの扱いについては、3者とも3ページ扱いで広げるような観音開きのものや、あるいは4ページで扱って両側に広がる両観音開きというのでしょうか、そういうふうになる箇所があって、工夫されていると思いました。

特に日本文教出版は、尾形光琳の「燕子花図」の屏風絵をその両観音開きのページに大きく載せてあったり、葛飾北斎の「神奈川冲浪裏」の作品を原寸大で載せるなどして、教科書自体が鑑賞に耐え得る価値を持っているというふうに思いました。この日本文教出版は、また重さのことで申し訳ないのですが、3冊構成にしている、1冊当たりの重さが軽いこともよいと思います。分冊にしたことで表現や鑑賞の題材を多く載せていることもよいと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小池直美委員、お願いします。

小池直美委員 私もまた重複してお伝えしたいのですが、光村図書のペー

ジ内にある片側の見開きの部分というのは昔からよく見られましたけれども、お話しがりましたが、日本文教出版、開隆堂、3者ともに有名な代表作を両観音開きで、開いていくと、思わず私も声を上げてしまったくらいすごくインパクトがあり、また、実物作品に近づけているということで、実感を持ちやすいのではないかと思います。

光村図書の基本方針を拝見しますと、「うつくしい！を探しに行こう。」という言葉がありました。美術を学ぶに当たって、美しいって思うことがまず大切なように思います。最初のページで目に飛び込んできました美しいという言葉と谷川俊太郎さんの詩がとても印象的でした。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体を通して付け加え等、何かございますか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ないようですので次、保健体育に移ります。保健体育につきましてご意見をお願いします。小池規子委員、お願いします。

小池規子委員 保健体育は、4者の教科用図書がございます。いずれも生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているというふうに思いました。

その中で、大修館は、藤沢市の調査資料にも書かれておりますけれども、単元に関連した内容のサイトへ直接アクセスできるように「web保体情報館」というコーナーがございます。本文に関する情報を詳しく調べられるように工夫がなされていると感じました。

また、学研教育みらいでは、こちらは県の調査資料にもございますが、各単元に関連する職業や資格を取り上げた「JOB」マークが欄外に記載されておりました。授業で学んだことをきっかけに、生徒の将来の職業選択につながる貴重なページであるというふうに感じました。

そして、両者とも、資料やデータが新しいという点も、生徒が学ぶ上で課題を身近に感じられる大切な要素であるというふうに思いました。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。石田委員、お願いします。

石田委員 私は、学研教育みらいと東京書籍についてお話ししたいと思えます。

学研教育みらいの応急処置では、RICEが見やすく扱われていて、部活動などで運動の機会が多い中学生にとっては、生徒が主体的にけがの予防に取り組める工夫があると思えます。

そして、「探究しようよ！」というコーナーでは、がんの治療や、がんとともに生きることが取り上げられていて、生徒の思考を深める内容となっていると感じました。

東京書籍ですけれども、運動後のクーリングダウンの効果に関するグラフが示してあったり、スポーツ障がいに関する資料が載っていて、こちらも部活動などで運動を多くする生徒が主体的に学び、考える工夫があると思えました。また、災害の学

習でも、災害の知識だけではなくて、災害時の心構えなどについてもわかりやすく示してあって、中学生が自分のこととして考えるようになっていく点がよいと感じました。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。米倉委員。

米倉委員 「内容と構成」ということでお話しします。

大修館ですけれども、扉のページにその章で学習する内容が示されて、学習の流れが大まかにつかめます。内容に入ると、「課題をつかむ」で生徒が安全・健康について自分のこととして考えて、他の人とも相談をして意見を聞くような設定がされているので、主体的な取組になるということが期待できると思いました。章の最後にまとめが設けられて、振り返って深めるという流れが3年間にわたって続けられるので、学びやすい教科書ではないかと感じました。また、スポーツで「支える」というのがこういう場面だと写真で示してあるとか、飲酒や薬物の誘いにどういうふうに対処するかなんていうことを端的に示してあったりして、学びを人生や社会に活かす力が育成できるように工夫されていると思いました。また、写真の話ばかりなんですが、秋葉台文化体育館の写真や防災学習のページに広域避難場所の片瀬中学校の表示があったりして、本市の生徒にとっては、とても身近に感じられる教科書だなと思いました。

大日本図書は、单元ごとのページ割が見やすくなっています。心配蘇生法のページが非常に大きく、やり方が詳細に示されているので、大事なポイントを確認することができるようになっていくなということを感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体を通して付け加え等、何かご意見はございますか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ないようですので次、技術に移ります。技術につきましてご意見をお願いします。百武委員。

百武委員 主体的・対話的で深い学びに関してですが、各者とも対話的な学びの例を掲載するなど工夫されてきました。また、「社会と関わる力」の中の「働くことの大切さ」についても、各者とも社会で活躍する人を例示したり、社会の中での技術の役割などについて掲載したりしてました。

東京書籍では、技術は夢をかなえるためにあるというメッセージを全編にわたってアピールしています。そして、今学んでいる技術とそれを職業にしている人のエピソードを挙げるなどして、実生活や社会生活につながっているという見方を深めるような工夫がされていると思いました。

また、各者、他教科との関連を示すマークなどが記載されていて、これもわかりやすいと思いました。

教育図書では、巻末資料に都道府県別の博物館が掲載されていて、他教科との関連の中で問題解決の力を育むように工夫されていると思いました。

また、「学びに向かう力」、「人間性を涵養する工夫」として、各者とも社会の中で利用されている技術の例を紹介するなどして、工夫されていると思います。

開隆堂は、「参考」「豆知識」として、技術の在り方や活用の

方法などの課題を掲載するなどして工夫されているなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかががかでしょうか。内田委員。

内田委員 私からは、観点2の「分量・装丁・表記等」についてお話をしたいと思います。3者とも大きさについてはA B判でそろっており、内容・構成、それから文字サイズ、フォントなどに大きな違いはないようです。

ただ、特筆すべき点として、東京書籍は、全ページにわたってページの隅のところにパラパラ漫画を掲載するなどして、アニメーションの動作原理の理解に役立つような何気ない工夫、遊びの要素、こういったものをうまく取り入れて、子どもたちに興味関心を持たせて、より創造性豊かな指導ができるようになっていくなというふうに感じました。

委員長 ありがとうございます。他はいかががかでしょうか。野村委員。

野村委員 私は、本市の生徒が学ぶ教科書としての適切さという視点で述べさせていただきます。教科書に地域の資料が取り上げられているということは、それだけでも生徒の学びに対する興味関心を高めますし、その後の深い学びに大きく影響するものと考えますけれども、3者とも、神奈川県産業技術を紹介する資料を掲載してありまして、親しみのある内容であると考えます。

東京書籍については、三浦市の農業ですとか、横浜市における環境技術の利用、ICTを利用したサービスなど今日的な技術、科学の紹介がされています。

また、教育図書は、先輩からのメッセージとして、1ページ分の県立海洋科学高校の取組をはじめ、県内の農業、水産業、

宇宙科学技術などを紹介しています。

また、開隆堂は、県立平塚工科高校の取組や、川崎市の体育館の照明などの工夫を取り上げています。全都道府県の伝統工芸マップを掲載している点にも工夫が見られると思います。

なお、3者とも神奈川県伝統工芸として箱根寄木細工を紹介していることも本市の生徒に親しみを持って学べる点であると思います。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいでしょうか。全体としましてご意見の付け加え等はないでしょうか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ないようですので次、家庭に移ります。家庭につきましてご意見をお願いします。井上委員。

井上委員 家庭分野については3者ありますけれども、いずれも実践的、体験的な活動を取り入れてあり、考えたり、課題解決したりする力を養う学習が取り入れられています。また、二次元コードで見られる内容もそれぞれに充実していきまして、お料理とか裁縫、保育など、映像だけでも相当学べそうに思えました。

それらの中で私が注目したのは、「内容と構成」においてなんですけれども、東京書籍のみが、3年間の学習の順番が他の2者と異なっているということです。他の2者では3年間の初めに家族、家庭、幼児があり、次に衣食住となり、最後に消費、環境につながりますけれども、東京書籍は、最初に衣食住の特

に食べることから入り、3年間の最後に家族、地域というふうになっています。巻の始めに「自立と共生を目指して」と題した家庭分野のガイダンスがあるんですけども、3年間の学びの流れを通して自立と共生を目指していることが伝わってくる気がしました。

他の2者のように、中学校に入学してきて最初の単元が家族、家庭、幼児であることは、相応の意義があるとは思いますが、ただ、生徒同士も教師の側もまだお互いの理解が進んでいない中で、家族であるとか生い立ちであるということに向き合わせるといいますか、そういうことを扱うには相当な配慮が必要だと思います。その点、食べることから入るのは、自分の命の基本という意味でもふさわしい単元構成で、本市の中学生の実態にも合っているというふうに考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。志水委員。

志水委員 私も今、井上委員が話された東京書籍の単元構成は、中学生の発達段階に即して、たいへん特徴的な構成だと思いました。中学校生活3年間の最後に、自分は身近な家庭や地域に支えられて生きているということを認識し、これからは自分が支える主体になっていくのだというようなことを認識し、意識が変わっていったり、そういった自覚を期待できる構成の工夫だというふうに感じました。

次に、保健体育ですとか社会の地理的分野でも扱っていましたが災害対策の扱いなんですが、この家庭科の中でも3者とも4ページを使って、主体的に災害、防災について考えるという工夫がされていました。

開隆堂は、ハザードマップを紹介したり、「中学生としてできることをまとめましょう」と記述させるところもあたりして、

進んで防災について考える内容・構成になっています。

東京書籍は、福島県、宮城県の中高生が被災時にどのようなことをしたのかというコラムがありまして、具体的で生徒が実生活に活かしてみようと関心・意欲を持たせるような内容です。また、地域での協働として、釜石市の中学生の活動も紹介しています。中学生が身近なこととして防災を考えるきっかけとするには、よい紹介コラムだと思いました。また、調査資料にも卒業後も長く活用できるとありましたけれども、巻末には切り取って使える「防災・減災手帳」がありまして、衣食住の備え、家庭・地域での備え、情報の入手など、日頃からの備えの重要性ですとか具体例がコンパクトにまとまっているのも実用的で使いやすかったです。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小池規子委員、お願いします。

小池規子委員 藤沢市におきましては、小中学校9年間を見通した教育の充実及び連携の推進を図るために、小中学校間で交流などを実施しております。

開隆堂には、「小学校での学び」というコーナーが教材ごとに示されており、小学校で学んだことを振り返りながら、学びの連続性を意識させる工夫があると感じました。

また、東京書籍にも、小学校教科、そして中学校教科との記載がありまして、小学校の家庭科や他教科で学んだことに加えて、中学校の他教科との関連が示されております。学校種や教科を越えた学びの連続性や関連性といった提示があることで、生徒の関心が高まり、主体的な学びにつながるのではないかなというふうに感じました。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通しまして付け加え等、何かご意見
ございますか。

各委員 なし。

委員長 それでは、ないようですので次、英語に移ります。英語につ
いてご意見をお願いします。井上委員。

井上委員 私は、長く中学校で英語を教えてきたんですけれども、学校
での英語の授業の最大の役割は、子どもたちに英語をもっと学
びたい、身につけたい、使いたいと思わせることだと考えてい
ます。授業の中でそう思うことができ、また、その方法を知
ることができたら、子どもたちはいくらでも自分で学んでいく
ことができます。教科用図書は、そのために適したものを選び
たいですし、英語の教員は、それを目指して授業をつくってい
く必要があると思います。

中学校での英語の授業はどんどん進化し続けてきたと思いま
すけれども、学校の外で実際に英語を使う必要とかチャンスが
少ない日本では、入学試験や資格試験のための学習はしても、
なかなか語学を習得するレベルまでは到達しないという状況が
続きました。けれども、今、日本の英語教育は大きな転換点を
迎えています。小学校での英語教育が今年度から正式に教科と
して始まりましたし、また、大学入試に関しても、試行錯誤中
ですけれども、聞く、読む、話す、書くという4技能の実用的
な能力を測るものに大きく改革されようとしています。

また、ICTの発達によって、誰でも簡単に世界中とつなが

れるようになってきたことも非常に大きいことです。特に今回の新型コロナウイルス感染症問題をきっかけとして、学校教育におけるICTの役割が飛躍的に進化しようとしています。生徒が英語学習への意欲と目的意識さえ持てれば、自らいくらでも学べる環境が整いつつあります。

そういう意味でも、学校での週4時間の授業の意味合いというのはますます大きなものになっていると思います。授業そのものを、英語によるコミュニケーションの実践場面とするように、言語活動の充実とともに、基本的に英語で授業をすることも求められています。

新学習指導要領にあるように、授業の中で英語の語彙とか表現とか文法を、ただの知識としてではなくて、「どんな場面でのように使うのか」とか、その「働き」に注目して、コミュニケーションの手段として実感しながら学んで、繰り返し練習するということがたいへん重要です。また、「誰が伝えているのか」とか、「誰に伝えているのか」という、その「相手」を常に意識することがコミュニケーションの基本です。そして、生徒自身が自分の学習に見通しを持って、これを学ぶことでこういうことができるようになるのだという目的を理解して進めることも必要です。

そういう観点で6者の教科用図書を拝見したんですけれども、各者とも学習指導要領改訂の要点を踏まえて、たいへんよく工夫されていると思いました。その中でも、私は3者、東京書籍と教育出版と啓林館については特に、常に「言語の習得」ということに主眼を置き、英語を使う「目的、場面、状況」を明確に、しかも自然に、生徒の発達段階に応じて設定しているというふうに感じました。教科書の本文を細かく分析して、読んでは訳すというような授業からの脱却がしやすいと考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。越委員、お願いします。

越委員 三省堂の「NEW CROWN」、この教科書は私が中学生の頃なので、もう30年も40年も昔の、前に使っていた教科書で、アリスとハンプティ・ダンプティの話が1ついまだに記憶に残っていて、もしかしたら入っているかななんて思っていたら、入っていました。このお話は、まだ英語がよく理解できていない中学生でも、「不思議な国のアリス」は誰もが知っているお話で、「Down, down, down」と穴に落ちていく様子が不気味で、不思議な世界に取り込まれていく、その雰囲気は英語で伝わってくるのが、何か少しでも理解できたような気がして、うれしかったのを今でも覚えています。

単語や文法は教科書で理解できても、先ほど井上先生もおっしゃいましたが、聞くとか話すとなると、まだ苦手な生徒が多いのではないかなというふうに思います。どの出版社も2次元コードが教科書についていますので、確かな発音が今はその場で耳にすることができるので、この教科書から興味を持ち、英語が好きになり、話せるようになりたいと広がっていくとよいなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。米倉委員。

米倉委員 光村図書についてですが、登場するキャラクターが身近に感じられることで、親しみやすい教科書だなと思いました。構成に工夫があって、教科書の真ん中に帯教材が挟まれています、それを3年間繰り返し使っていくことで英語を使う即興力の育成ができる。3年間積み重ねていくと、語彙が増えて、自己肯

定できるようになるんじゃないかなというふうに感じました。

また、今のお話にもありました開隆堂ですが、マンガの登場人物がユニークで、その場面とか表情から英語の文章を読んで、くすりと笑うことができるということで、英語がわかっているという気持ちになれるのではないかなというふうに感じました。あとは、ユニットの文法の確認のページがとても色分けされていて見やすいなというふうに私は感じました。

それから、三省堂、こちらもお話にありましたが、「Word Bank」というコーナーや、「文法のまとめ」の中の「英語のしくみ」というコーナーの中で英語の表現の仕方をイラストとともに状況をつかむことができるので、これも自分にわかりやすいなというふうに感じておりました。

それから、啓林館ですが、ユニットの流れが見開きで見ることができるので、生徒にとっては、どういう順番に学習が進んでいくのかがよくわかる構成だなというふうに思いました。

「Get Ready」「Practice」「Use」というふうに進んでいく中で、学習する表現や文法を身につけて、「Read & Think」というコーナーでテーマに沿った文章を読みとって、「Project」で最後に言語活動を行っていくという流れが3年間続けられています。

私は、どちらかというとも英語には恐怖を覚えるほうなんですけれども、自分が見ていても、アンパンマンのお話だったらちょっと読んでみたいと思ったり、日本の伝統文化を紹介してみたいなというふうに感じたりしましたので、よいなと感じました。前置詞のイメージをボールの位置で示してあるページもありまして、自然に使える言語になるための工夫がされているんじゃないかなと感じました。ゆるキャラの話題では、きっと、本市の生徒たちはふじキュンを紹介するのではと思いました。

以上です。

委員長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。長田委員。

長田委員　　私は「編修の趣旨と工夫」の部分について述べたいと思います。6つの出版社を見る中で感じたのは、井上委員も今お話ししたとおり、日本の英語教育についての問題点やコミュニケーションツールとして活用できる英語を考えるという提案を各者が検討していることが伝わってくるように思いました。その中で、東京書籍と啓林館についてたいへん興味を持ちました。

東京書籍は、小学校での学びを踏まえ、さらに中学校で学ぶ英語を積み重ね、丁寧に学ぶように内容が記述されており、充実した1冊になっていると思いました。

一方、啓林館については、ページを追うごとにパターン化して見やすい形で進めていかれるように、ユニバーサルな視点に立って構成されています。聞くこと、話すこと、書くことをパターン化して繰り返し、活用することを意識してつくられており、非常にリズムを感じました。

英語科の教員がどのように活用するかでも、内容の活かし方は変わってくるように思いますが、どちらにしても、英語が嫌いにならず、自分の世界を広げる一つのツールとなって活用できる学びにつながるとよいというふうに思いました。

以上です。

委員長　　ありがとうございました。他はいかがでしょうか。長谷川委員、お願いします。

長谷川委員　　私から、「分量・装丁・表記等」のところをお話しさせていただきます。

三省堂の「NEW CROWN」の英文がとても読みやすいなという印象を受けました。先ほどもお話があったように、ここ数年で、小学校で外国語として英語を学ぶ機会が増えてきましたけれども、小学校はやはり学びというよりも遊び、まず英語に触れる、

少しずつその音を聞くということだと思うんです。そこから中学校になると、テストがあって、点数が出る教科になる、評価がつくということで、小さい頃から英語を学んでいらっしゃるお子さんもいると思うんですけれども、やはりなかなか抵抗感を持つ生徒さん、苦手意識がある生徒さんもいるかなと思います。

そんな中で、最初にばっと長文の英語を見ると面食らってしまう部分があると思うんですけれども、三省堂の最初の、1年生の初めのところですが、文も短く、設問がゲーム形式になっていて、何かゲームをする感じで英語に答えていくというような設問がいいなと思いました。

各者ともにイラストが多用されているなという印象を受けたんですけれども、本当に漫画チックといたしますか、そういったところで、そちらのほうに興味が行ってしまうんじゃないかなということで、先ほども少しお話をしていたところです。子どもたちの興味を持たせる部分と、あと、しっかりと英語を学べるというところの共存が難しいかなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。井上委員。

井上委員 先ほど申し上げた3者についてなんですけれども、東京書籍については、1年次の教科書には小学校で既に学んだ語彙や表現に「小」という桜の形のマークがついていて、学ぶほうも、それから教えるほうもわかりやすくなっています。また、表現できることが、まずは自分から始まって、身のまわり、体験、将来、町、社会、日本、海外、SDGsというように、順に広がっていくのもよいと思いました。また、二次元コードで聞ける音声や見られる動画の内容もたいへん充実していて、自学自習に適しています。また、巻末の「CAN-DOリスト」という

何ができるようになったかのチェックリストは非常に具体的で、生徒が見通しをもちやすいと思いました。ただ、他者の教科書より3センチほど縦に長いA4判を使っていて、全体として文章や情報の量がすごく多くて、充実しているんですけども、逆に生徒によっては負担に感じることもあるかもしれないというふうに思いました。

教育出版ですけれども、これは語彙や例文をドリルのように繰り返して覚えるための目隠しシートつきのリストであるとか、音読の回数の記録欄であるとか、優れた言語活動がまとめである巻末のコーナーとかがありまして、実用的に学べる工夫が多くあるなというふうに思いました。二次元コードはそんなに多くないんですけども、教科書本文の音声を聞くことができます。

啓林館は、1年次の初めに小学校のまとめと復習のレッスンがあります。言語活動は、「目的、場面、状況」の設定が明確で、かつ自然、わざとらしくないというんですか、自然に活用できる練習ができるように工夫されています。また、一番の特徴は、他の委員からもありましたけれども、紙面の構造がシンプルでわかりやすいということだと思います。毎回同じパターン、見開きで「Get Ready」「Practice」「Use」ということが繰り返されていて、本文も短めなんです。二次元コードの内容も、語句と本文のみなんですけれども、文字も出てきて、文字を見ながら聞くこともできますし、単語が1個ずつ聞けるので、自学自習に適しているというふうに思いました。誰もが取り組みやすいという点から考えると、本市の生徒の実態に適しているのではないかなと考えました。

以上です。

委員長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。全体を通して付け加え等、何かご意見はございませんか。

各委員 なし。

委員長 ないようですので、それでは道徳に移ります。道徳につきましてご意見をお願いします。長田委員。

長田委員 私は、7者ある中で、光村図書出版と日本文教出版の2者に注目して見ってみました。

光村図書出版は、学習指導要領との関連を持たせるために「深めたいむ」というじっくり学びたい内容を位置づけ、議論する道徳や深く考える機会を設けてあります。また、押しなべて秀逸な作品が数多く入っていると思いました。

また、日本文教出版については、道徳を学ぶ意味を身近な事象から自分事として捉える工夫がされていると感じました。中学生の視点から、「なぜ、どうして」を自ら追求していかれるように、心理の側面からのアプローチも感じます。LGBTQについて、人権、国際、環境などの社会に目を向け、生徒自身の生き方を考える内容がとても充実していて、リアリティーのある道徳の時間を実践できるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。米倉委員。

米倉委員 日本文教出版ですが、「学習の進め方」というものが設けられていて、問題解決的、体験的な学習が行えるように設定されている教材があります。その発問についてですけれども、「考えて

みよう」というコーナーですが、生徒がねらいに迫れるように質問が設定されているのではないかなと思いました。その後「見つめる、生かす」というコーナーで考え方を深めて、他の人の意見を聞きながら多面的・多角的に考えることができると思います。生徒は、自分自身を振り返ることができますし、若い教師が増えていますが、若い教師にとって自然に道徳の授業の進め方がわかって、この教材は体験的な学習に適しているなというような教材を知ることができると思います。これを3年間続けていけば、生徒は道徳性の成長を自分で感じられると思いました。

「道徳ノート」というものがありますが、調査資料にもありますけれども、ねらいに迫った自分の考えを書くように使っていくと、成長の軌跡となるように思います。心情が捉えやすいから話合いの内容が深まるのではないかなと思いました。また、いじめに向き合った教材も多く取り上げられていて、自分の生き方に誇りを持って、他人ごとではなく自分のこととして考えられるようにする工夫がある教科書だと思いました。

また、日本教科書ですけれども、1年生は「生き方を学ぶ」、2年生は「生き方を見つめる」、3年生で「生き方を創造する」という教科書の名前が既にその3年間の道徳の授業のねらいとして読み取ることができました。装丁や内容から日本の伝統文化を尊重する心の育成を大事にしているんだなということを感じておりました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。笹原委員、お願いします。

笹原委員 私は、道徳に係る観点からお話をさせていただきます。今、米倉委員もお話しされていましたが、どの発行者の教科

書も、体験的な学習が進めやすいようにさまざまな工夫が見られました。中でも特筆すべきが、東京書籍、光村図書、日本文教出版の教科書ではないかなと思いました。

東京書籍では、役割演技や体験的な学習を主体としたグループエンカウンターのパージが設けられていました。

光村図書では、長田委員もお話しされていましたけれども、「深めたいむ」で、読み物教材で学んだ道徳的価値を、活動を通してさらに深く実感を伴って考えることができるように工夫されているなと思いました。

日本文教出版でも、「問題解決的な学習」、「体験的な学習」に適した教材には「学習の進め方」を設け、より深く考え、議論することができるような工夫が見られていると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。越委員、お願いします。

越委員 教育出版のところに目を向けました。人と人とのさまざまな出来事が子どもたちにとって身近なことだったりとか共感できたり、よく起こり得る出来事が掲載されているように思いました。大人も子どもも、悪いな、いけないなどはわかっていながらも、ちょっと冷たくしてしまったり、強い言い方をしてしまったり、それも気がつかないうちに何かしてしまったりとか、そういうことがあると思います。そんな中で、この道徳の教科書を開き、この中のお話に触れたときに、授業としてクラスで意見を出し合い、でも、道徳って正しい答えはなく、また、そこで発言できる子もいれば、発言できなかった生徒もいると思うんですが、この道徳の教科書のお話を読み、感じる中で、自ら心の軌道修正がずっと自然にできる1冊だなというふうに思いました。

また、日本文教出版は、ちょっと対象的で、テレビの中の登山家の野口さんや柔道メダリストの井上康生さん、i P S細胞の山中さんなど、有名な方を掲載していて、最初は有名な方だけに生徒が実際自分のこととしてぴんとくるのかなというふうに思っていたのですが、読んでみると、この方々の現在だけではなく、子どもの頃からの苦労や挫折など、今までの過程が細かくよく描かれているものが多く、夢がもてるストーリーになっているなというふうに思いました。また、大きな夢だけではなく、日常生活の些細な出来事にも共通して、一步前進、また気持ちを新たにできる1冊だなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。小路委員。

小路委員 私は、教科用図書に記載されている発問や学習の進め方の観点から、本市の生徒の実態に即したものと考えました。日本文教出版、東京書籍、教育出版は、問題解決的な発問を取り入れた教材が多くあります。

その中で、特に日本文教出版は、巻頭オリエンテーションのページで、道徳の時間で学ぶことや、学び方をわかりやすく示してあり、話し合わせるときも、ロールプレイを取り入れた話合いの展開になっています。そういったところから、生徒自身が主体的に考えて深めていく構成となっているのではないかと考えました。

また一方、光村図書では、教材に登場した人物の心情や行動理解をしていく発問が多く取り入れられています。この発問自体は少ないのですが、実際に道徳の授業を進めていくうえでは、どうすればよいという問題解決的な話合いよりも、行動や心情を理解したうえで、そのことについて自分の気持ちの中でその是非を問うというか、そういうようなことを展開していくほう

が、自分の考えにしっかりと自分自身で向き合って深めていく
というような展開になり、生徒が学びやすい部分があります。
そういった意味で、この光村図書も適していると考えました。
以上です。

委員長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

各委員 なし。

委員長 よろしいですか。付け加え等、何かご意見ございませんか。

各委員 なし。

委員長 ないようですので、これで本日予定された議題に関する審議
は終わりになります。

全体を通して、委員の皆様、何かございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 特にないようですので、次回の審議委員会の日程等について
確認をさせていただきます。次回の審議委員会は7月9日木曜
日午前10時から、場所は本日と同じく藤沢市民会館第1展示
集会ホールでと考えておりますが、日程等よろしいでしょうか。

各委員 はい。

委員長 では、次回の議題につきましては、審議方針に基づきまして、
1つ目として「令和3年度使用特別支援学校及び小学校若しくは
中学校の特別支援学級用教科用図書について」、また、諮問に
対して答申をする必要がございますから、2番目としまして「令

和 3 年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」といたします。このことについて皆様からご意見やご確認等ございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 特にないようですので、では、第 3 回審議委員会につきましてもよろしくお願いいたします。

事務局から何か連絡等はございますでしょうか。お願いします。

事務局 本日の中の資料につきましては、明日、市役所 4 階市民相談情報課で公開いたします。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。他はよろしいですか。

それでは、本日は長時間にわたるご審議をありがとうございました。これをもちまして第 2 回令和 3 年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。本日は誠にありがとうございました。

この会議の結果の記載に相違ないことを、確認する。

署名委員